



愛甲石田駅南口を利活用した将来のまちづくり
「いせはら未来会議」相馬 欣行

Q 今後の伊勢原市の継続発展と未来のまちづくりに向け、愛甲石田駅南口のまちづくりをどのように考えているのか市長に聞きたい。

A 今後の伊勢原市の継続発展と未来のまちづくりに向け、愛甲石田駅南口のまちづくりをどのように考えているのか市長に聞きたい。

A 【市長】伊勢原大山インター周辺のまちづくりや伊勢原駅北口再開発などの大型プロジェクトを進めていく中で、愛甲石田駅についても都市マスタープランにおいて地域拠点として位置づけられ

るなど、重要な場所であるとともに、公共交通ネットワークを形成する上で重要な位置づけにあると認識している。こうした大型プロジェクトを進めながら、県道整備に係る課題解決など、必要となる整備の方向性について研究を進めていきたいと考えている。



化学農薬等を低減する環境保全型農業の状況について
「神奈川ネット」土山 由美子

Q 本市は、県内においても9自治体しかない環境保全型農業に取り組む農業者を有している。このような状況を生かした取り組みの可能性について、どのように考えているのか聞きたい

きな流れが示されたことを契機として、国などによる技術革新が進捗し、環境保全型農業や有機農業で経営が成立するようになれば、消費地にも近い本市の特性を生かし、多くの経営体が率先して環境に優しく安全性の高い農業形態を選択してもらえるようになるかと考えている。

A 【農地利用担当部長】現時点においては、生産性の向上と環境負荷軽減への配慮の両立は難しい状況だが、みどりの食育システム戦略という大

規模の取り組みを推進する。また、環境保全型農業や有機農業で経営が成立するようになれば、消費地にも近い本市の特性を生かし、多くの経営体が率先して環境に優しく安全性の高い農業形態を選択してもらえるようになるかと考えている。



子育て家庭への新たな支援の拡充と推進を
「公明党」中山 真由美

Q 子育て家庭支援の基盤を早急に整備していくための新たな支援策につい

て、本市の取り組み状況を聞きたい。

A 【子ども部長】本市では、市内の産科のある医療機関と3か月に一度連絡会を定期的に開催し、支援が必要な妊産婦の情報共有を図るとともに、妊産婦の心身のケアや乳児の虐待防止のために連携を図っている。この連絡会には平塚保健福祉事務所も加わり、多角的な視点で協議していく機会を設けており、妊産婦や

乳幼児の家庭のさまざまな問題に対し、医療、保健、福祉の分野で支援策を提案し、問題解決に努めている。滞在型支援については、実施機関の協力が必要となることから、ニーズも含め、今後調査研究していきたい。



親元就農を含めた後継者対策について
「創政会」米谷 政久

Q 新規就農者に対しての支援は充実してきていると思うが、家の農家を継ぐ親元就農は充実しているのか、親元就農を含めた後継者対策について聞きたい。

この事業は、親元で就農する方も活用することができ、認定新規就農者であれば、日本政策金融公庫の無利子の資金である青年等就農資金の活用もできる。



食品添加物の健康への悪影響を与える危険性について
「いせはら未来会議」安藤 玄一

Q 我がが日頃口にする食品には多種多様な人工物が使用されており、危険性を児童生徒にしっかりと伝え、自分たちが食べているものへの自覚を促す必要があると考えるが、見解を聞きたい。

加工食品を口にすること自体が危険なのではなく、毎日そればかりを過剰に摂取すると危険性があるということを理解し、自分にとって何が安全で

あるかを正しく理解する知識を養うことが大切であると考える。

料の表示をよく見て、何が含まれているかを確かめる習慣を身につけ、自らが健全な食生活を営むことができる判断力が培えるよう、食育に努めたいと考える。



板戸川の浸水対策について
「創政会」大山 学

Q 昨今多発する、異常気象によるゲリラ豪雨に対し、どのような対策を行っているのか、さらに、これからのような取り組みがされるのか聞きたい。

岸側において、延長約150m、高さ約50cmのコンクリートかさ上げ工事を実施しているところである。



東富岡611番地の盛土について正面から答えず
「日本共産党」宮脇 俊彦

Q 計画段階で事業者から提出された正式な計画書は現状がどうで、設計責任者が入った計画書があるはずだが、工事後にこうしたものに基いて検証を行ったかどうか、聞きたい。

現場での確認を行っている。



(仮称)郷土資料館構想整備事業について
「創政会」館 大樹

Q 文化財行政の充実を、本市のビジョンとして掲げるべきであり、その拠点となる象徴的なものを形として表すことが求められると考えるが、見解を聞きたい。

現在、拠点施設はないが、これからもさまざまな手法を用いて、本市の歴史文化を、まちを元気にする核の一つとして活用していきたい。また、その価値を共有することで、しっかりと引き継いでいく取り組みを、今後も工夫を凝らしながら続けていきたいと考えている。



里山付近の荒廃した森林対策を
「光風会」越水 崇史

Q 住宅地に近い森林が荒廃しているため、野生動物が人里に出没し、生活環境に被害が発生している。

市は、森林整備計画に基づいて森林整備をしているとのことだが、里山付近での整備が進んでないように見える。

A 【経済環境部長】荒廃している里山付近の森林整備については、森林所有者等に山の管理をお願いしているが、高齢化が進み、管理が行き届かな

本会議はインターネット中継でも御覧いただけます。
市議会の詳細はHPをCheck!
伊勢原市議会 検索